

春木川の放流に参加して・・・

## く久しぶりにクチボソ とメダカに出会った

昭和60年頃までの春木川は幾度となく川が氾濫し床上、床下浸水などの被害が発生しておりましたが、河川改修により最近は浸水被害のない静かな川になってきました。しかし、残念なことに一昨年の水質調査で2度目の全国ワーストワンの川になってしまいました。

春木川は、稲越地先の国分川から別れて真間川に合流する約2.2kmの短い川で、昔は農業用水として利用し、船で東京まで荷物を運んだ水路と聞いております。それは古い昔の話ですが、私の記憶している春木川は昭和34・5年ごろまでは、たくさんの魚がいて、シジミも取った覚えがあります。また、泳ぎも覚えた川でもありました。

しかし、子ども達と一緒に今の春木川を見ながら昔の話をしてても当然信じてもらえる訳がありません。そのような川ですが、今、春木川

をきれいにする協議会の皆様が、昔の川のように魚が生息できるように、数年前より水質浄化に向け、努力されております。私も昨年の10月に稲越小学校の4年生や近隣住民の方々と一緒に、魚の放流に参加をさせていただきながら春木川を見た時、いました／＼クチボソやメダカです。更にきれいで、たくさんの魚が住む川になるよう、流域住民の皆様と一緒に、水質浄化に向け努力してまいりたいと思います。



改修中の春木川